

2021年度 事業報告および 決算報告承認の件

I. 2021年度活動のまとめ

- 2021年度は、第7次中期計画初年度として、「消費者が一人ひとりの価値観を持ってらせる、福井らしい地域社会の実現へのお役立ち」を理念として、行政を中心に地域の諸団体、市民グループ、福井県民生協とも連携しながら、「消費者市民社会とSDGsの実現」、「福井のくらしにあったくらし方提案」をすすめました。
- 経常収益は会費収入が前年を下回りましたが、福井県と鯖江市からの委託料収入がほぼ前年並みに確保できたことや参加費収入が前年を上回ったことにより、計画・前年を上回ることができました。(実績6,792千円、計画比100.9%、前年比101.8%)一方、会計ソフトのバージョンアップや総会講師費用が前年から上回り、経常増減額は計画・前年を下回りました。(実績△179千円、計画差△186千円、前年差△277千円)
- 17年目となった福井県消費生活センター事業である「消費生活セミナー」および7年目の消費者教育担い手養成講座「くらしの基本セミナー」の受託事業は、前年度に引き続き、全てオンラインで開催しました。「消費生活セミナー(403人)」、「通信セミナー(596人)」、「担い手養成講座(143人)」、「鯖江市食の安全安心講座(70人)」と全体で1,000人を超える参加がありました。
- SDGsとエシカル消費の取り組みを行いました。エシカル普及キャンペーンの委託事業は3年目となり、持続可能な社会の実現に向けての普及啓発活動を推進しました。
- 福井の地域にあったくらし方提案として、食に関する学習や情報提供、食の悩みや相談などを目的とした「食育講座」、男性の食の自立や社会参加を目的とした「男の料理」や「G・G クッキング」、「料理ライブ」などを開催しました。また地域からの要請に応じて、食や環境をテーマとした「出前講座」への対応を行いました。
- 「消費者のくらし向きに関するアンケート」調査を2回取り組み、県民の消費マインドの傾向を発表し、報道機関を通して広く県民に情報発信することができました。

	企画数(回)			参加人数(人)				
	実績	前年実績	前年比	計画	実績	前年実績	計画比	前年比
■消費者セミナー	22	23	95.7%	990	1,086	1,128	109.7%	96.3%
通信セミナー参加者数	-	-	-	550	596	577	108.4%	103.3%
通信セミナー修了者数	-	-	-	430	470	419	109.3%	112.2%
消費生活セミナー	10	10	100.0%	300	403	475	134.3%	84.8%
担い手養成講座(延べ参加人数)	10	10	100.0%	150	143	152	95.3%	94.1%
鯖江市食の安全安心講座	2	3	66.7%	110	70	82	63.6%	85.4%
■ハーツきッズ食育講座	13	11	118.2%	140	148	122	105.7%	121.3%
■出前講座・講師紹介	4	5	80.0%	240	144	237	60.0%	60.8%
■男の料理・GGクッキング・料理ライブ	18	24	75.0%	180	109	162	60.6%	67.3%
■会員数	-	-	-	270	246	251	91.1%	98.0%
個人会員	-	-	-	245	223	227	91.0%	98.2%
団体会員	-	-	-	25	23	24	92.0%	95.8%

II. 重点的な取り組みのまとめ

1. 消費者市民社会の実現を目指して

(1) 消費生活セミナー(福井県消費生活セミナー委託事業)

消費生活セミナーは、7月に親子講座を3企画、9月～11月に「くらしの講座」を7企画、オンラインで開催しました。(参加人数403人、計画比134.3%、前年比84.8%)前年に引き続き全企画オンライン開催としましたが1企画当たりの参加人数が伸びず、開催曜日や時間帯の修正、運営方法の改善が必要です。(金曜日18時30分～20時企画参加人数54人、計画比180%、見逃し配信企画参加人数106人、計画比353%)

	開催日	講座名	参加数	目標比
親子講座	7/22(木)	「食中毒に注意！発酵とカビの違いとは？発酵を利用してパンを作ろう！」	30人	100%
	7/24(土)	「ソーラーでブルブル動く虫を作ろう！」	13人	43%
	7/26(月)	「親子で考えよう！子どもと一緒に備える防災」	13人	43%
	小計		56人	62%
くらしの講座	9/25(土)	【高齢世代】「騙されないための契約のキホン」	21人	70%
	10/2(土)	【勤労世代】「一人ひとりを大切にする地域防災へ」	34人	113%
	10/9(土)	【勤労世代】「どう見直す生活費！コロナ禍の家計管理」	37人	123%
	10/23(土)	【高齢世代】「ネット情報とどう付き合う？コロナ禍のサイバー犯罪」	27人	90%
	10/29(土)	【勤労世代】「ひも解く！SDGs今こそ私たちの行動がカギ」	54人	180%
	11/3(水)	【勤労世代】「身につけよう！生活に必要な金融の知識と判断力」	68人	227%
	11/13(土)	【勤労・高齢世代】「アフターコロナを生き抜くための知恵」	106人	353%
	小計		347人	165%
消費生活セミナー 合計			403人	134%

(2) 消費生活通信セミナー(福井県消費生活セミナー委託事業)

消費生活通信セミナーは計画前年を上回る県民が通信講座に取り組み、くらしに関わる学習の場として活用しました。(受講者数596人、計画比108.4%、前年比103.3%、修了者数470人、計画比109.3%、前年比112.2%)一般受講者数は93人(前年比157.6%)と伸長しました。また、今年度よりオンラインでの受講を開始しましたが、30人の受講にとどまり、案内方法と仕組みの改善が必要です。

(3) 消費者教育担い手養成講座(福井県消費生活セミナー委託事業)

次世代の消費者教育の担い手育成を目的に、10回連続講座をオンラインにて開催しました。受講者22人(計画比110.0%、前年比100.0%)、修了者数は見逃し配信効果もあり13人(計画比130.0%、前年比130.0%)となりました。(見逃し配信利用率14.7%)毎回消費者団体の代表者に団体の活動紹介をしていただき、受講生に消費者団体活動について興味をもつていただく機会をつくりました。

開催日	講座名	参加数
9/1(水)	【開校式】福井県消費生活センター 中社所長 ご挨拶 【消費者市民社会】「より良い地域や社会を作るため 今私たちにできること」 【団体との交流】福井市くらしの会	13人
9/8(水)	【食の未来とSDGs】「未来を変えるフードテクノロジー これからの食の安全安心」 【団体との交流】敦賀市消費者連絡協議会	14人
9/15(水)	【情報を見極める力】「AI・IOT・5Gが彩る未来 情報を正しく安全に活用する力」 【団体との交流】小浜市消費者協議会	17人

9/22(水)	【防災事情のホント】「防災確認ポイント 迅速かつ適切な避難行動とは？」 【団体との交流】鯖江市くらしをよくする会	18人
10/6(水)	【コロナ禍の家計管理】「新型コロナウイルスがもたらす社会変化と家計の対応」 【団体との交流】大野市消費者グループ連絡協議会	13人
10/13(水)	【生前整理のすすめ】「心もくらしも変わる終活 大切な人に繋がる整理とは？」 【団体との交流】勝山市消費者連絡協議会	17人
10/20(水)	【悪質商法と消費者行動】「より巧妙で悪質！騙しの手口 マインドコントロールされるワケ」 【団体との交流】越前市消費者グループ連絡協議会	16人
11/3(水)	【人生100年ライフシフト】「多様なライフスタイル これからのマルチステージ人生へ」	9人
11/10(水)	【SDGsとエシカル消費】「持続可能なライフスタイル エシカル消費から始めるSDGs」 【団体との交流】嶺南消費者生活研究会	13人
11/17(水)	【まとめ・消費者市民社会の実現】「私たちが作る消費者市民社会 ～考え、判断し、行動する～」 【閉講式】福井県消費生活センター 中社所長 ご挨拶 【団体との交流】福井県消費者研究会	13人
合計		143人

(4) 福井県エシカル消費促進事業(福井県委託事業)

県民へのエシカル消費普及啓発を目的に「エシカルチャレンジ2021」に取り組みました。ホームページでの広報やチラシ設置施設数(44か所、前年差+24か所)の拡大効果もあり、1,000人の参加がありました。

(5) 鯖江市食の安全安心講座(鯖江市委託事業)

7月に「もぎたて野菜でエシカル消費を学ぼう」をテーマに、鯖江市の農事組合法人エコファーム舟枝さんに協力いただき、野菜の収穫や袋詰め、ラベル作りなどを通してエシカル消費を学ぶ親子体験講座をリアル開催しました。(参加親子13組、30人)2月に「食品ロスを削減しよう！冷蔵庫すっきり収納術と保存術」をテーマに、食品ロス削減アドバイザー 福田 かずみ氏を講師にお迎えし、オンラインで講座を開催しました。(参加人数40人)

2. 福井のくらしにあったくらし方提案

(1) 食育講座

乳幼児をもつ保護者を対象に、生協の子育て支援センター ハーツきつずで「食育講座」を13回行い、のべ148人の親子が食生活に関するさまざまな内容を学びました。また、食の悩みや不安相談などに対応し、子育て支援活動に取り組みました。

(2) 男の料理、G・G クッキング

男性の食の自立と社会参加を目的とした料理教室を、福井地域では「男の料理」、敦賀地域では「G・G クッキング(福井県民生協第3地区本部との連携企画)」として開催しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響と敦賀地域での参加が広がらず、参加人数は計画・前年を下回りました。(参加人数109人、計画比60.6%、前年比67.3%)新たに、若者を対象とした料理教室を4月に開催しました。

(3) 出前講座

食や環境をテーマとして出前講座の依頼に対応しました。地域からの要望がリアル開催であるため、参加人数は計画・前年を下回りました。(4回、144人参加、計画比60.0%、前年比73.2%)大学生や高校生との連携については、着手できませんでした。今後、料理教室を契機に関係性をつくっていきます。

(4) くらなびカレッジ

年間を通して学びを提供できるプラットフォームとし「くらなびカレッジ」の開設を検討しましたが、熟考した結果、開設は見送ることとしました。

(5) 総会記念企画

総会記念公演会として、吉本住みます芸人(福井県と石川県)をお迎えし、「吉本の本気の笑いをあなたに笑って学ぶSDGs」をオンラインで開催しました。(参加人数50人)

3. 情報ネットワーク

(1) 情報誌・通信・ホームページ

- ① 「情報誌くらなび」は年2回発行、福井県民生協の総代向けに「くらなび通信」を毎月発行しました。また、ホームページやインスタグラムなどで、各種講座の案内や報告を行いました。(SNSフォロワー数620人、計画比77.5%)
- ② 会員数は246人(団体会員23含む)と計画・前年を下回りました。(計画比91.1%、前年比98.0%)
- ③ マスコミ報道は14件と前年を上回りました。(前年比233.3%、くらし向きに関するアンケート調査9件、総会記念公演会3件、講座2件)

(2) 消費者のくらし向き調査

年2回、消費者のくらし向きに関するアンケート調査(16年目)に取り組み、県民の消費マインドの傾向を発表し、報道機関を通して広く県民に情報発信することができました。